

平成25年1月から3.0テスラMRIの検査を開始します

日頃より、東京労災病院中央放射線部に多数の患者様をご紹介頂き、誠にありがとうございます。



導入されたSIEMENS
MAGNETOM Skyra

当院の既存MRI装置は1.5テスラですが、今回、併用設置する3.0テスラのMRI装置は、従来のMRI装置と比べて2倍の磁場強度を有します。

今まで以上に高分解能な撮影が可能となり、高品位の画像を提供することができます。

これからもMRI装置2台体制で、連携医療機関の皆様のお診療にお役立ていただきたいと存じます。

3.0テスラMRIの特徴

①開口部が1.5テスラに比較して広い



1.5テスラMRI



3.0テスラMRI

開口部が広いので、従来と比べて開放感があり、快適に検査を受けることができます。

②高精細な画像が得られる

3.0テスラの高い磁場強度により、微小病変が見やすくなります。

特に脳神経に関しては、より鮮明な画像を得ることができます。1.5テスラとの2台体制で、依頼内容による効率的な画像の提供を行います。

中央放射線部のご案内



【中央放射線部スタッフ】

診断部門では常勤医2名と日替わりでの非常勤医が、一般撮影から核医学までの画像診断並びに血管内治療を行っています。放射線治療部門では非常勤の放射線治療医2名が、診察と放射線治療計画を行い、セカンドオピニオンにも対応しています。その他、看護師3名、診療放射線技師15名、クラーク2名のスタッフにてチーム医療を行っています。

血管内治療センターを併設しており、脳神経外科や循環器科を初めとした各診療科と連携し、他医療施設からの治療依頼に対応しております。また救急患者に対しては24時間体制で非侵襲的な治療を行い早期治療に貢献しています。

診断装置はRIS・PACSを含めたフル・デジタルで構築し、一般撮影装置：3台、CT装置：2台（64列、2列）、MRI装置：2台（3.0テスラと1.5テスラ）、血管撮影装置：2台、X線TV装置・乳房撮影装置・骨密度測定装置・核医学検査装置：各1台、ポータブル装置：6台と高性能な機器を備えています。

放射線治療装置は10MeV・4MeVのX線と5～15MeVの電子線の出力で、放射線治療計画装置を用いて浅部から深部までの幅広い治療を行い、外科的治療や内科的治療と共に治療の柱の1つとして貢献しています。

中央放射線部では高度な診断・治療装置を用い、地域の医療施設から依頼された検査や治療を行っており、検査予約の電話には24時間いつでも対応するなど、地域医療連携にも積極的に参加しています。

放射線科医師のご紹介



放射線科部長

長瀬 雅則

昭和61年東京慈恵会医科大学卒業

日本医学放射線学会認定放射線診断専門医

日本核医学会核医学専門医、PET核医学認定医

日本インターベンショナルラジオロジー（IVR）

学会認定専門医

検診マンモグラフィ読影認定医

慈恵医大本院、大森赤十字病院、聖路加国際病院、

富士市立中央病院（静岡県）、慈恵医大青戸病院

（現：葛飾医療センター）を経て現職

専門：IVR（血管内治療など）、診断一般

医師となり20数年が過ぎ、当院へ赴任して約4年半となります。血管内治療以外では診療の裏方のことが多いですが、CTやMRIの画像から偏らない広い目で病気の診断に寄与するように日々心掛けております。

また血管内治療では、肝臓癌を消化器内科や外科の先生とTAEと局所療法（RFAなど）や切除術を組み合わせた治療や、動脈硬化による下肢動脈の狭窄・閉塞の治療に対しては、血管外科の先生とPTAと人工血管置換術を組み合わせた治療を行うことなどで、より効果的な治療を行うよう努めております。

平成25年1月からは最新鋭のシーメンス社製3.0テスラ高磁場MRIが当院でも稼働を開始いたします。既存の1.5テスラ高磁場MRIとの2台体制となり依頼内容による効率的でお待たせしない高品位の画像を提供できるよう努めてまいりますので更なる病診連携のご活用をお願いいたします。



放射線科医師

蘆田 浩一

平成13年 東京慈恵会医科大学卒業
慈恵医大附属第三病院にて研修終了
慈恵医大放射線医学講座に入局
平成22年ロンドンセントトーマス病院留学
日本医学放射線学会 診断専門医
所属学会；日本医学放射線学会、IVR学会、
Society of Interventional radiology

昨年7月に慈恵医大第三病院から赴任いたしました、放射線科の蘆田です。
現在に至るまで主に腹部の画像診断およびIVRを専門にやってまいりましたが、
いわゆるgeneral radiologistです。

当院では1月に3.0テスラMRIが導入され、腹部領域など従来のMRIでは呼吸による画像劣化のため画像精度の低い領域も高速撮像が可能となり、かなりきれいな画像が撮像可能となりますので、診断に迷う症例や造影剤使用の困難な症例等での評価に力を発揮すると考えており、是非ご紹介いただければ幸いです。

また、当院ではIVRに力を入れて診療していきたいと思っております。残念ながら、外来は持っておりませんが各診療科の先生方と協力して患者さんの低浸襲治療にあたっております。具体的にはHCCに対するTACEや内臓、末梢血管のangioplasty/血栓溶解術、AVM、門脈、静脈系のIVR、経動脈的止血術、内臓動脈瘤塞栓術、CVポート留置をはじめ、CTガイド下生検等手技のvariationは多岐にわたり、微力ではありますが地域医療に貢献したいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

ご予約は中央放射線部にて承ります

予約電話：03-3742-7532（直通）

（昼・夜間・土日祝日の24時間体制）

専用FAX：03-3742-7170（直通）